

2026年2月20日
株式会社JR西日本イノベーションズ
スパイスファクトリー株式会社
学校法人関西大学

「途中下車したくなる」新しい鉄道旅体験を生み出すアプリ “鉄道旅専用”SNS『エキぶら』をデザイン・開発しました

— JR西日本イノベーションズ、スパイスファクトリー、関西大学の連携によるアプリ開発と、
本アプリを活用した実証実験の開始 —



株式会社JR西日本イノベーションズ（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：門間 洋介）、デジタル・トランスマーケティングを支援するスパイスファクトリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：高木 広之介）、学校法人関西大学（所在地：大阪府吹田市、理事長：芝井 敬司）は、鉄道旅における新たな移動体験の創出を目的に、3者で連携して“鉄道旅専用”SNS「エキぶら」をデザイン・開発しました。

本アプリは、株式会社JR西日本イノベーションズ、株式会社JR西日本コミュニケーションズ、株式会社ジエイコンテンツ、一般社団法人関西イノベーションセンター（MUIC Kansai）の4者が事業主体となって実施する実証実験の一環として、大阪環状線沿線を対象エリアに、2026年3月31日（火）までの期間限定で各アプリストアにて順次配信されます。

「エキぶら」は、途中下車^{※1}そのものを楽しむことを目的とした、今までにない^{※3}“鉄道旅専用”SNSです。気になるテーマや興味をきっかけに、「この駅で降りてみたい」「ここに行ってみよう」と、移動の途中で立ち寄り先が見つかります。また、行ってみたい場所があれば、地図上でその最寄り駅がすぐにわかるため、途中下車を直感的に楽しむことができます。

目的地まで一気に“ワープ”するように向かうのではなく、移動の途中で駅に降り、街や体験に出会いながら“ムーブ”していく。「エキぶら」は、移動そのものを楽しむ鉄道旅の新しいスタイルを提案するアプリです。

今回は、大阪環状線沿線を舞台に、駅とその周辺に点在するスポットや体験を結び直すことで、これまで“通過点”になりがちだった駅にも、降りてみたいと思うきっかけを生み出すことを狙います。

※1 本告知および本アプリにおいて使用される「途中下車」とは、普段は利用しない駅や、目的地に至る前後の駅で下車することを、広く一般的な意味で用いた表現です。

「エキぶら」の主な特徴

① 気になるタグを手掛かりに、降りたくなる駅が見つかる

「サウナ」「音楽」「団地」「川」など、気になるタグを起点に、思いがけない駅やスポットと出会いながら、「あの駅にそんな場所があるなら、降りてみようかな」と、自然に途中下車したくなる発見の連なりを楽しめます。



※画像は開発中のイメージです。画像のスポットはサンプルであり実在しません。

② 路線図と気になるスポットがつながるから、降りたい駅がすぐにわかる

行ってみたい場所があれば、駅と周辺のスポットが地図上で紐づいているので、最寄り駅がひと目でわかります。初めての駅でも安心して途中下車を楽しめます。



※画像は開発中のイメージです。

③ 途中下車を重ねるほど広がる楽しみ

「エキぶら」では、途中下車の体験をより楽しむための仕組みも用意しています。

おすすめのスポットをシェアしたり、他の人が投稿した情報にリアクションしたりといった、あなたの活動にあわせてアプリ内でポイント※2がたまり、利用の積み重ねがちょっとした楽しみになります。

また、訪れた駅を記念に残すことができ、「どの駅に降りたか」「どんな途中下車をしてきたか」を、自分の旅の履歴として保存できます。こうした仕組みは、鉄道旅を続ける中での小さな目標や振り返りとして、気軽に楽しめる要素です。詳しくは、公式ホームページおよびアプリをご確認ください。

※2 エキぶらポイントは、アプリの利用を楽しむためのポイントであり、現金や商品等と交換・換金できるものではありません。



鉄道旅行の移動体験をリデザインする取り組み～「ワープ」から「ムーブ」へ～

本アプリでは、株式会社 JR 西日本イノベーションズが“鉄道専用”SNS「Railil（レイリル）」(<https://www.jrw-inv.co.jp/business/railil/>) の開発・運営を通じて培ってきた、鉄道旅の楽しみ方やコミュニティ運営に関する知見を起点に、従来の経路探索や地図アプリでは把握しづらかった、駅周辺のスポットと最寄り駅との関係を直感的に捉えられる体験と、ユーザの興味を引き付けるタグが付与されたスポット情報から、駅がもつ雰囲気や特徴を演繹的に形成・提示する仕組みを設計しています。

この体験設計にあたっては、ユーザ中心のシステム開発を強みとするスパイクファクトリー株式会社が、UI（ユーザインタフェース）・UX（ユーザ体験）設計および技術実装の観点から参画しました。さらに、アプリの使いやすさや体験全体の一貫性については、関西大学 総合情報学部・松下光範教授の監修を得ながら、3者で検討を重ねてきました。

こうした検討と試行を通じて、株式会社 JR 西日本イノベーションズは、利用者の興味を起点に駅を探索できる仕組みや、スポット情報の集合から駅の雰囲気や特徴を形成・提示する仕組みについて特許を取得しています（特許第 7734822 号）。

※3 「今までにない」の表現は、本アプリの一部機能において特許第 7734822 号が活用されることによるものです。

【各社からのコメント】

株式会社 JR 西日本イノベーションズ（担当：事業共創本部／リーダー 白水 菜々重）

私たちは「鉄道で人生を豊かに」という考えのもと、「鉄道専用”SNS「Railil（レイリル）」」の開発・運営を通じて、人々の心を動かす鉄道の楽しみ方をデジタルでより広げる取り組みを続けてきました。



かつて、鉄道旅行は移動（ムーブ）そのものが特別な体験でした。しかし現在は、スマートフォンに目を落としたまま目的地に到着し、まるで瞬間移動（ワープ）したかのように感じる移動が日常化しています。このワープ型の移動が広がる中で、旅そのものを味わうムーブ型の移動が持つ魅力に改めて目を向けることこそが新しい価値を形づくると私たちは考えています。

「エキぶら」は、鉄道旅行の移動体験をリデザインすることを目指し、ムーブ型の体験をより多くの方に届けたいという想いから生まれました。今回の PoC の対象エリアである大阪環状線は、通勤・通学やお出かけなど日常的に利用される路線です。その一方で、用事がある駅以外で降りる機会は意外と少なく、訪れたことのない駅も身近に存在しています。

本アプリは、駅を単なる乗り降りの場や通過点としてではなく、周辺のスポットや体験情報を束ね、意味づける“ポータル”として再定義しています。駅と周辺情報を構造的に結び直すことで、駅や路線を移動の可能性を広げる起点として設計しました。本実証実験を通じて、鉄道旅行の移動体験をリデザインする可能性を検証してまいります。

スパイクファクトリー株式会社（担当：Interface & Experience Design Division./General Manager 佐藤 千秋）

ヒトの感情が動くとき、気付かぬうちに次の行動が誘発されています。本件では、実際に電車で移動しながらプロトタイプを使っていただく実地検証とプロトタイピングを交互に繰り返し、ユーザーがわくわくする体験とは何かを追求しました。「日常の移動が“旅”に変わる瞬間」や「途中下車したくなる探求心」といった感情の動きを目指し、現在地から最寄り駅のスポットとの関係性をエモーショナルに把握できる UI や、興味のタグから発見が自然と連鎖する情報構造を設計しています。ただの閲覧ではなく、自ら探索し蓄積したくなる体験へ。日常の移動が探索のわくわくに変わるととき、「エキぶら」が新しい“旅”的なパートナーになると信じています。



(監修担当) 関西大学総合情報学部・松下 光範 教授

移動の中で生まれる「セレンディピティ（偶発的な発見）」を、どのように設計できるのか。これは、人とシステムの関わりをデザインする研究分野における重要なテーマの一つです。「エキ.ぶら」では、ユーザの興味・関心を起点としたタグベースの情報提示と、空間情報を直感的に把握できる地図インターフェースを組み合わせることで、偶発的な発見を促す設計を目指しています。路線図上に駅と周辺スポットの関係性を可視化する仕組みは、日常的な移動の中で見落としていた対象への気づきを誘発し、新たな探索行動を後押しします。本実証実験では、こうした設計が実際の途中下車行動にどのような影響を与えるのかを、データに基づいて検証する予定です。



アプリ配信概要



- アプリ名：“鉄道旅専用”SNS 「エキ.ぶら」～大阪環状線編～
 - 配信期間：2026年2月20日（金）～2026年3月31日（火）配信終了予定
 - 対象路線：大阪環状線、JR ゆめ咲線
 - 利用料金：無料
 - 対応端末：iPhone（iOS15,iPadOS15以上）以上／Android OS10以上
 - 入手方法：App Store／Google Play
※iOS版は準備が整い次第、順次配信となります。
詳細は公式HPまたは公式Xをご確認ください。
- リンク一覧
 - 公式ホームページ：<https://www.ekipura.jp/>
 - 公式X：https://x.com/eki_pura
 - お問い合わせメールアドレス：support@ekipura.jp（エキ.ぶら運営事務局）

【ご利用にあたっての注意事項】

- 本アプリのご利用にあたっては、周囲の安全に十分ご注意いただき、歩きながらの操作はお控えください。
- 本アプリのご利用にあたっては、利用規約を遵守してください。特に、投稿機能の利用においては、第三者の権利や法令、公序良俗に配慮した内容の投稿をお願いします。

【実証実験（PoC）にあたっての注意事項】

- 本取り組みは実証実験（PoC）として実施しており、予告なく内容の変更、中止、または早期終了となる場合があります。
- 実証実験終了後は、本アプリの提供を終了する場合があり、利用者が投稿した情報や利用状況に関するデータが削除・破棄される可能性があります。その場合、実証実験終了後は本アプリや投稿内容にアクセスできなくなりますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせについて】

- 駅構内や列車内において、本アプリに関する内容について駅係員へのお問い合わせはお控えください。
- 本アプリに関するお問い合わせやサポート対応は、開発・運営を行う株式会社ジェイコンテンツ内「エキ.ぶら運営事務局」にて行っています。企画事業者ではお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

【商標およびキャンペーン・利用に関する注意事項】

- App Store、iOS および iPadOS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google Play、Android は Google LLC の商標または登録商標です。
- キャンペーンについて、米 Apple および Google は主催者ではなく、一切関係がありません。
- Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- 本キャンペーンは株式会社ジェイコンテンツによる提供であり、Apple Inc.、Google LLC および Amazon.com, Inc. (Amazon、Amazon.co.jp を含む) は主催者ではなく、本キャンペーンとは一切関係ありません。
- 本キャンペーンに関するお問い合わせは Amazon では受け付けておりません。

関連法人概要

| | |
|--------|---|
| 法人名 | 株式会社 JR 西日本イノベーションズ |
| 所在地 | 大阪市北区梅田 3-2-123 (Compass Offices INOGATE 大阪 10 階) |
| 代表者 | 代表取締役社長 門間 洋介 |
| 設立 | 2016 年 12 月 |
| 事業内容 | 社会・地域課題の解決と JR 西日本グループの「私たちの志」の実現に向け、スタートアップ企業との連携を通じたオープンイノベーションを推進しています。コーポレートベンチャーキャピタル (CVC) の運営や、新規事業の創出・事業運営を通じて、未来に向けた価値創造に取り組んでいます。 |
| 企業 URL | https://www.jrw-inv.co.jp/ |

| | |
|--------|--|
| 法人名 | スパイスファクトリー株式会社 |
| 所在地 | 東京都港区台場二丁目 3 番 1 号 (トレードピアお台場 20 階南) |
| 代表者 | 代表取締役 CEO 高木 広之介 |
| 設立 | 2016 年 3 月 |
| 事業内容 | スパイスファクトリーは、企業や行政機関のデジタル変革を引き起こす"触媒 (スパイス)"となる DX 支援企業です。経営課題から現場の事業課題解決まで全方位で関わる 360° デジタルインテグレーターとして、デジタル領域の課題に幅広く対応します。事業サービスの構想、システム開発、UI/UX、マーケティングなど、一気通貫で支援します。ユーザー中心の設計を軸に、変化への対応力と俊敏性を高めながら、伴走して解決策を導き出します。 |
| 企業 URL | https://spice-factory.co.jp/ |

| | |
|--------|--|
| 法人名 | 学校法人関西大学 |
| 所在地 | 大阪府吹田市山手町三丁目 3 番 35 号 |
| 代表者 | 理事長 芝井 敬司 |
| 設立 | 1886 年 (明治 19 年) 11 月 4 日 |
| 事業内容 | 1886 年に関西法律学校として誕生し、大阪とともに歩んできた関西大学は、6 つのキャンパス (千里山・高槻・高槻ミューズ・堺・吹田みらい・北陽) に、幼稚園から大学院まで 14 学部、13 研究科、2 専門職大学院、1 留学生別科、そして 8 つの併設校を擁する総合学園です。2025 年 4 月に開設したビジネスデータサイエンス学部をはじめ、今後も社会の変化に柔軟に対応しながら、教育・研究活動の充実と一層の発展を目指していきます。 |
| 企業 URL | https://www.kansai-u.ac.jp/ |